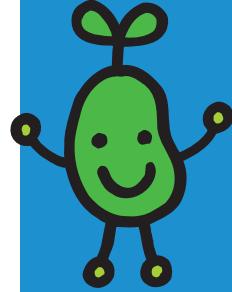


# ビーンズ 通信 vol.95



●発行日／2019年(令和元年)9月10日

●発行元

特定非営利活動法人

**ビーンズふくしま**

〒960-8066 福島県福島市矢劔町22-5 2F

TEL&FAX 024-563-6255

URL <http://www.beans-fukushima.or.jp/>

E-mail [info@beans-fukushima.or.jp](mailto:info@beans-fukushima.or.jp)

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を開展しています。

「創立20周年記念式典」でも、  
様々な「つながり」で  
支えられてきたビーンズふくしま  
「つながり」が生まれました。



ビーンズふくしまは、2019年9月9日に20周年を迎えることができました。その前日、ザ・セレクトン福島にて「創立20周年記念式典」を開催しました。

この20年間、支えてくださった103名の方々にご参加いただき嬉しく思っております。

皆様の想いが通い合う時間となり、改めてビーンズふくしまが地域にとってどんな役割を持つのか考えるきっかけとなりました。皆様が終始、笑顔で交流し、暖かな雰囲気に包まれ、様々な「つながり」が生まれたと思っております。

「ありのままが認められ、自分らしく生きる」子ども・若者の生きる力を信じ、その育ちを地域全体で育める社会をつくるためにビーンズふくしまは21周年目も全力で歩み続けて行きます。これからもどうぞ、よろしくお願ひいたします。

2006 福島県委託事業  
「ニート支援セミナー及び  
ジョブトレーニング業務」受託

> 2007 厚生労働省委託事業「ふくしま若者  
サポートステーション」開所(～現在)

> 2008 厚生労働省委託事業「こおりやま若者  
サポートステーション」開所(～現在)  
メンタルフレンド訪問相談開始  
ビーンズ自立寮を南福島に開設(～2014年閉鎖)

> 2009 厚生労働省「いつでもどこでもサポートモデル事業」受託  
福島県緊急雇用創出基金事業「若者就労体験等事業」受託  
ふるさと雇用再生特別基金「地域若年者技能体験講習」受託(～現在)  
若者自立支援功労団体等厚生労働大臣表彰

> 2010 郡山市にて高卒認定資格取得学習サポート開始  
子ども若者育成・子育て支援功労者 内閣特命大臣表彰「若者育成支援部門」  
厚生労働省「高校中退者等アウトリーチ事業」受託  
福島県緊急雇用創出基金事業「若年者就業促進支援員育成事業業務」受託

# 「おもしろ、おかしく」若者支援

佐藤●ビーンズの中で、若者支援をする流れになったのは、ひきこもり家族会の保護者からの要望があったこと。それと当時、子ども世代だけでなく、少し上の若者たちへの支援の必要性が出てくるだろうという考え方から「トータルサポートケア」をしようという流れがあった。

鈴木●ビーンズの若者支援の時系列的には、「ビーンズプレイス」、委託事業で「ジョブトレーニング」、「ふくしま若者サポートステーション」、「こおりやま若者サポートステーション」の順で展開していったんだよね。当初僕らは、ジョブトレーニングなんかの名前とは裏腹に、トレーニングではなく、若者たちと一緒に面白おかしい事を考えたいと思っていたんだよ。佐藤●「おもしろ、おかしく」が大事って言っていたね。居場所に来た時に、みんなで楽しくとか、みんなで共有するとか、そういうことをフリースクールでも大切にしていたし、プレイスやその他の若者支援の現場でも大切にしようって話していた。ジョブトレ事業は、委託事業の走りだったね。今でこそ、「ひきこもり」って注目されているけど、当時は、不登校もやっと社会的関心がで

きた時期で、ひきこもりに関しては、まだまだ行政もノーマークだった。

鈴木●時代的には、リーマンショックの不景気で派遣村とかが話題に。国も政策的に「若者自立・挑戦プラン」ができて、動き出してビーンズも手を挙げた。

## ひとりじゃなくて、みんなでチャレンジ

鈴木●県の委託事業で、ひきこもりの若者に職業体験機会をつくる事業があった。プログラム設計を任せたんだけど、貰った素案には、若者がスーツを着て企業で職業体験する内容だった。それを見てビーンズっぽくないし、若者に何が残るか疑問だったので、全部プログラムを変えたんだ。個別で参加するのではなく、グループで体験できるように変えたんだ。みんなで目標を立てて体験した後には、達成や苦労の「ふりかえり」の時間を入れたレクリエーションや、みんなでパーティーを開催したね。

佐藤●一人だと出来ないことも、何人か仲間がいれば出来ることが多かったよね。みんな、喜んでいたと思う。

鈴木●僕らが意識していたことは、若者を必要としている事業所に行く事。「若者を鍛えてやる」とか「根性を直してやる」みたいな事業所は、上手にいかない。若者や僕らに場を提供

してやってるって感じにどうしてもなってしまう。逆に必要としてくれている、例えば酪農家は人手がいなくて困っているとか、相手が若者を必要としているところに出かけてた。そうすると、若者はとても温かく迎えてもらえる。全然違うんだね。僕らの視点は、若者は課題を抱えている人たちではなく、「仲間」であること。そして、彼らが持つ可能性を僕らは常に信じていた。だから、若者を直そうとか、根性注入しようとか一切思ったことはない。

## ボーダーレスに居場所をつくる

佐藤●サポステの事業は最初、モデル事業で5年って言われていた。もし国が終わりにしますって言って、「はい、閉鎖」ってはできないよね。

鈴木●そこで、サポステがなくなってしま大丈夫なような地域デザインをしようって考えたんだ。せっかく、ひきこもっていた若者たちが、希望を持って、勇気を振り絞って来たのに、国がやめるって言ったから、終わり、にはしたくなくてね。地域包摶のあり方を模索して、ビーンズを飛び出して、他の団体と協働していくなんものを作っていたんだ。

佐藤●もともとフリースクールも、会津の方丈舎と一緒に作ってきた部分



もあるし、松下先生の「きんこんかん」と一緒にやったこともあった。ビーンズだけでやってきたことって、振り返ってみると案外少ないかもしれないね。

鈴木●ビーンズらしさって、いろんな人たちがボーダーレスに関わって子どもや若者の居場所を作っていくことだと思っているよ。NPOってまさしくスタッフだけでやるんじゃなくて、ミッションに共感する人たちが参加するものだと思う。

佐藤●当時は、全然NPO法人とか意識していなかったけれど、いろんな人がいて、子どもたちのためにやっていけばいいんじゃないって本当に思う。それが結果としてNPOにつながったのが面白いよね。

鈴木●いろんな人が参加しながら、地域と一緒にになって、ビーンズはやっているんだと思う。



若者たちでフリーマーケットに参加



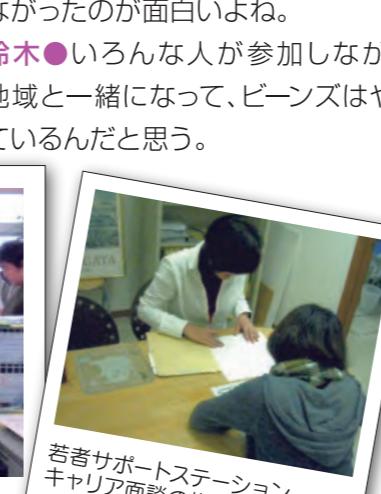
福島市の矢剣町にひっこしてきました



ふくしまサポステでランチ作りをやってました



若者サポートステーション就活講座のひとこま



若者サポートステーションキャリア面談の様子

# 平成30年度地域課題解決型募金～赤い羽根共同募金～への ご協力に心から感謝します

私たちが関わる子ども・若者の多くは複合的要因(貧困、劣悪な家庭環境、虐待、不登校、いじめ等)により、「生きる力(学ぶ意欲、助けを求める力、困難に立ち向かい自立に向かう力等)」が低下し、孤立状態となっています。子ども・若者の孤立解消に向けて、皆さまからご協力いただいた募

金を活用し、子ども・若者が安心して参加できる居場所・集合型活動を実施しています。

この活動を通して、子ども・若者はいろいろな方たちと交流し、様々な経験を積み重ねることで、少しづつ自己肯定感を醸成し、生きる力を育んでいくことができます。



子ども・若者の生きる力を育み、孤立を解消していくために、これからも活動をしてまいります。

## 冷蔵庫購入のためのご寄付、ありがとうございました ～フリースクールビーンズふくしま一同～

長年、子どもたちの活動を支えてきたフリースクールの冷蔵庫が寿命を迎え、このままではフリースクールの活動が続けられない!ということで、冷蔵庫購入に関するご寄付をお願いしております。「子どもたちの居場所を守りたい」と、大変ありがとうございました。お気持ちを多くの方から頂戴

し、総額129,000円のご寄付を頂きました(8月31日現在)。皆様のおかげで、フリースクールの子どもたちが自信を育む、多様な体験をこれからもつくることができます。心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付で、調理実習などで使う冷蔵庫だけでなく、フリース



クールの日常で使用する備品を購入します。ありがとうございました。

## 『若者』×『フードロス』×『農業』新しい形の社会参加 福島Re:Pizzaプロジェクト(ちょいくら)始まりました!

日本国内では年間646万トンもの「食べられるのに捨てられてしまう」食品・食材があります。私たちは企業や農家さんと連携し、規格外野菜や食材の提供を受けて若者と一緒にピザの製造・マルシェ等での販売活動

をしていくことで、フードロス問題や若者の社会参加の機会づくりに取り組んでいます。

この活動を通して「全ての人・モノに価値があり循環する地域」をつくることを目指しています。

活動していく上で野菜のご寄付や出店場所の確保、運営をお手伝いいただける方など、まだまだ不足している状態です。協力いただける方を随時募集しております。 ●問い合わせ／TEL:024-983-9481(ちょいくら担当)



●ビーンズふくしまのホームページ こちらへアクセス ➔ <http://www.beans-fukushima.or.jp/>